

平成 26 年 12 月 8 日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所 3 , 4 号機 第 1 放射化学室における
火災発生の原因と対策について

平成 26 年 10 月 28 日、定期検査中の玄海原子力発電所 3 , 4 号機の原子炉補助建屋内にある第 1 放射化学室において、化学分析用局所排気装置内の電気配線部から発煙したため、直ちに消火器により消火を行いました。

その後、消防による現場確認が行われ、火災であると判断されました。

(平成 26 年 10 月 28 日 お知らせ済み)

調査の結果、局所排気装置内の中継コネクタ(以下、コネクタ)及びケーブルの一部が著しく焼損していることを確認しました。

火災の原因は、局所排気装置の工場製作時における施工不良により、コネクタの接続部付近に接触不良が発生し、過負荷の状態に通電が繰り返されたことから、亜酸化銅が生成し、発熱・発火したものと推定しました。

今後、再発防止対策として、以下を実施します。

- ・当該及び同種の局所排気装置内の電気配線については、コネクタを使用しない配線方式に変更する。
- ・その他類似設備の電気配線上のコネクタ部を点検する。

当社は、今回の再発防止対策を徹底し、原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

以上